1. 学校教育目標

人権尊重の精神に立ち、一人一人が心豊かに、やさしく、たくましく、生きる力を育成する。
 = 夢のある楽しい学校 =

2. 学校経営目標

- ・一人一人が主体的に学び、互いの違いを理解し仲間とともに「学び合う学校」創りを推進する。
- ・確かな学力、豊かな心、健やかな体を育み、保護者や地域に「信頼される開かれた学校」創りをめざす。

[めざす児童像]

- ・意欲的に学び、考える子ども
- ・心豊かな子ども
- ・たくましい子ども
- ・明るく笑顔であいさつできる子ども

[めざす学校像]

- ・子ども一人一人が主体的に学ぶ学校
- ・互いの違いを理解し仲間とともに学び合う学校
- ・保護者、地域に信頼される開かれた学校

[めざす教職員像]

- ・子どものよさを見つけ、個性を伸ばそうとする教職員
- ・豊かな人間性を持ち、子どもと共に成長する教職員
- ・チームとして、学び合い、高め合う教職員

3. 学校経営の重点

学び合う学校創り

- ・認め、励まし、ほめる教育を推進する学校、学級
  - ・すべての児童が活躍できる学校、学級
  - ・児童が失敗を恐れず、未来に挑戦する学校、学級
- 確かな学力を育成する
- ・家庭と連携し、学習習慣を確立するとともに、個に応じたきめ細かな学習指導に取り組む。
  - ・「知識・技能」とともに、自ら学び、主体的に判断・行動し、よりよく問題解決する「学ぶ意欲」や「思考力・判断力・表現力等」を育成する授業づくりに取り組む。

豊かな心の育成

- ・児童一人一人が自己有用感や自己肯定感を感じ取れるよう、心の居場所づくりを推進する。
- ・主体的で共同的な活動を通して、児童自らが絆を感じ取れるよう、絆づくりを推進する。
- ・あいさつや日々のコミュニケーションを大切にし、広がりのある豊かな人間関係を築く。

たくましい心と身体の育成

- ・最後までやりぬく強い心を育成する。
- ・身体を鍛え高める活動を推進する。
- ・健康安全への関心を高め、基本的な生活習慣を確立する。

学校業務改善の推進

- ・教職員が心身ともに健康で、児童と向き合う時間を確保するとともに、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、「校務のICT化」「ノー会議デー」「定時退勤日（ノー残業デー）」などに取り組む。

4. 具体的な取組み

授業の充実

- ・児童一人一人の学習意欲を高め、「言語活動を大切にする授業」に取り組む。
- ・児童が「分かった」「できた」と自覚できるような授業づくりに取り組む。
- ・めあてと振り返りを明確にし、「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業の工夫改善に取り組む。
- ・学び続ける教職員として、専門性の向上に努める。

道徳教育・人権教育の充実

- ・希望と勇気、思いやり、規範意識、生命の尊さなどの道徳性を高める指導の充実に努める。
- ・自分の大切さとともに、他の人の大切さを認めることができるよう、人間尊重の精神を育てる。
- ・児童の豊かな心を育てる体験活動や実践活動の充実に努める。

特別支援教育の充実

- ・特別な支援を必要とする児童の自立と社会参加に向けて、児童一人一人の障害の状態や教育的ニーズに応じた指導と共に交流学习に取り組む。
- ・特別な支援を必要とする児童への理解を通して、お互いを尊重できる教育をすすめる。

生徒指導における協働体制の確立を図る。

- ・児童の日常生活における変化に気を配り、多角的で温かな児童理解を通して、すべての教職員でチームとしてきめ細かな指導に努める。

安全教育の推進を図る。

- ・児童が安全な環境で安心して学校生活を送れるよう安全点検の実施と安全教育の指導内容や方法の充実に努める。

健康教育の充実

- ・アレルギー対策に関わる校内指導体制の整備と食育の充実を図る。
- ・自ら健康づくりに取り組む態度、習慣を育成する。(早寝、早起き、朝ごはん)

情報教育の推進

- ・教育機器(コンピュータ等)になれ親しみ、学習機器として児童が主体的に活用し、学習に生かすことができるよう支援する。
- ・ICT機器を効果的に活用できるよう研修に努め、指導方法の工夫・改善を図る。

環境教育の推進

- ・自然とのふれあいや身近な生活の中での気付きや発見をきっかけとして、環境に関心を持ち理解を深める。

家庭・地域との連携を図る。

- ・学校ホームページや各種たよりで情報を発信し、家庭・地域との連携を深める。
- ・地域の人材や地域の自然・環境・文化などの教育財産を活用する。

教育の場としての環境づくり

- ・学校施設や設備の点検、改善を図りながら、学校環境整備を進める。